

## 【2019年度～2022年度入学者用】

### 2-1. 単位制度のあらましと履修登録の上限

1単位の授業科目の内容は45時間の学修を必要とする内容をもって構成されています(本冊子3ページ参照)。例えば、講義科目では毎週100分(2時間として計算)の授業を行うほかに、その倍の時間の予習復習をおこなうことが必要になっています。こうした単位制度の趣旨から、過密な履修を避けるために各学期及び学年で履修できる単位数の上限が設定されています。

単位制度の意味をきちんと理解したうえで、以下に述べる進級条件・卒業要件を満たすよう履修計画をたてて実行してください。

- (1) 春学期・秋学期各々について30単位を超えて履修することはできません。
- (2) 年間の合計が49単位を超えて履修することはできません。
- (3) 2年次以降は上記を基準とし、前年度までの累積GPAが3.0以上の学生は年間60単位まで履修できます。
- (4) インターンシップ、科学技術コミュニケーション演習(SAプログラム)、卒業要件とならない入門数学、入門物理学、教職科目や文系資格(図書館司書等)科目は、履修制限の対象外となります。

### 2-2. 進級条件・卒業要件、履修上の留意点

- (1) 進級条件および卒業要件が次ページにまとめてあります。

進級・卒業するためには、各年次の必要単位数を満たすのみならず、科目区分ごとの要件も満たさなければなりません。これらの条件や要件のうちの一つでも欠けると、進級や卒業が遅れることとなります。卒業に向けて綿密な履修計画を立てて実行してください。

- (2) 下記の科目は本学科で学習を進める上で重要な基礎をなします。かならず履修してください。
    - ・1年生の「**自然科学の方法(電気)**」は、高等学校から大学への学習のつながりを滑らかにするために設置されている科目です。また、「**情報リテラシーと表現技術**」は、ICTスキルの修得に必要な科目、「**デザインとテクノロジー**」は、電気電子工学の基礎を養成できる科目です。
    - ・2年生の数学科目(「**応用数学(電気)**」、「**応用解析(電気)**」、「**応用線形代数**」、「**複素関数論(電気)**」、「**基礎数値解析**」、「**確率統計(電気)**」)、ならびに情報系2科目(「**プログラミング言語C(電気)**」、「**プログラミング言語Fortran(電気)**」)は、専門科目を理解し、卒業研究を行うために必要不可欠な内容を多く含みます。
    - ・「**科学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ**」は、専門科目の実験、卒業研究等の実験において必要とされるセンスを身に付けるために重要な科目です。※「**文章作法**」は、実験レポートや卒業論文執筆の際に必要とされる作文技術を学べる重要な科目です。本科目は抽選科目のため、全員が履修できるわけではありませんが、積極的に履修してください。
- (3) 本学科では、卒業後の広範な進路に対応するため5つのコースを設定しています。5つのコースの概要と推奨する科目が「**2-4. 各コースの案内と履修ガイド**」にまとめてあります。このコース分類はあくまでも一つの目安であり、複数のコースにまたがった履修も可能です。また、各履修モデルはあくまでも一例であり、そのコースのゼミ(研究室)に所属するための条件ではありません。
  - (4) 本学科卒業後に得られる取得資格および受験資格が「**4. 資格の案内**」にまとめてあります。将来のキャリア形成との関係をよく考えて、履修計画に組み込んでください。
  - (5) 不明な点等がある場合は、クラス担任をはじめとする専任教員(電気電子工学科に所属する教授、

准教授、専任講師)に遠慮なく質問してください。

進級条件・卒業要件および履修上の留意点 (2019年度～2022年度入学者用)

	教養系科目			専門科目		公開選択科目	合計
	英語科目	教養科目	理系教養科目	自学科専門科目	他学科専門科目	※2016以降入学者のみ	
第1学年から第2学年に進級	6単位以上						30単位以上
第2学年から第3学年に進級				必修 20単位以上			64単位以上
第3学年から第4学年に進級	8単位			必修 29単位以上 選択必修 4単位以上			100単位以上
卒業要件	8単位	12単位以上	12単位以上 (必修6単位を含む)	62単位以上 (必修38単位・ 選択必修 4単位以上 を含む)			124単位以上
	計32単位以上			計80単位以上		計12単位以下	

※ 選択必修科目 (次ページ専門科目一覧参照) は必修科目に準じた重要科目であり、5科目中2科目 (4単位) を必修とします。

※ 進級基準を満たさなかったために留級となった学生 (前年度休学したことにより、留級したものは除く) は、本学科が主催する1学年上の選択必修科目、選択科目を履修することができます (必修科目は履修できません)。ただし、この履修単位は当該年度の進級に必要な単位として認められないので注意してください。

※ プログラミング言語をより詳しく学習したい学生には、プログラミング言語 C++、プログラミング言語 JAVA の履修を薦めます。ただし、これらの2科目は他学科主催科目であり、希望者が多い場合には履修が制限されることがあります。

※ 卒業要件について: 教養系科目の合計 32 単位と、専門科目の合計 80 単位の修得だけでは、合計が 124 単位以上という卒業要件を満たすことができません。さらに 12 単位以上を専門科目 (教養系科目・公開選択科目 (2016 年度以降入学者のみ) でも可) から修得してください。

※ 毎学期の成績および履修状況は、原則、保証人に通知されます。GPA が低い学生に対しては、適宜面談を行うなどして成績向上のためのサポートを行います。